



Keep the Lifeline.

ライフラインを、支える。

2023年3月期決算説明会資料



株式会社協和日成

2023年6月16日(金)

目次

1.	2022年度（2023年3月期）決算について	2
2.	中期経営計画「STEP 2024」の進捗について	8
3.	2023年度（2024年3月期）業績見通し	19
4.	ご参考資料	24

1. 2022年度（2023年3月期） 決算について

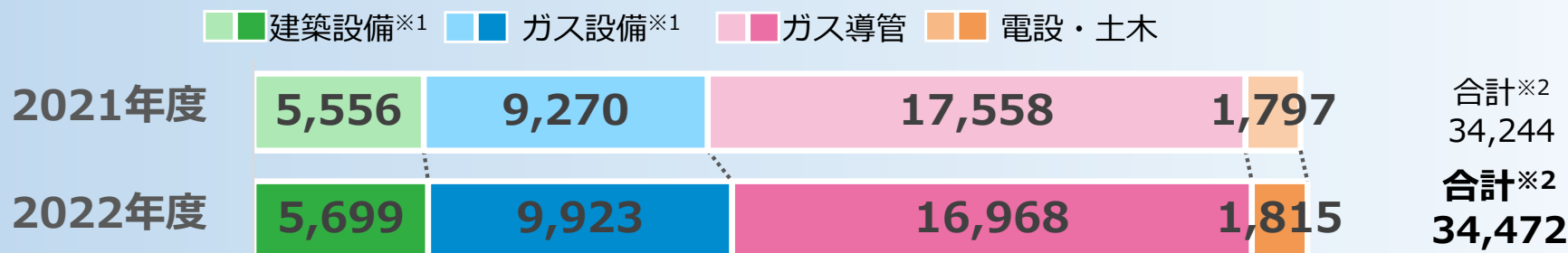
Keep the Lifeline.

損益計算書（要約）

- 売上高は前期比増加したものの、一部の工事において原価率の高い案件の完成があったことにより前期比減益となった

(百万円)	2022年度 実績	2021年度	2021年度比		2022年度 予想	予想比	
			(金額)	(%)		(金額)	(%)
売上高	34,472	34,244	+228	+0.7%	34,580	▲107	▲0.3%
営業利益	1,141	1,259	▲117	▲9.3%	1,140	+1	+0.2%
経常利益	1,338	1,403	▲65	▲4.6%	1,320	+18	+1.4%
当期純利益	933	1,078	▲145	▲13.5%	920	+13	+1.4%
【参考】 期初手持工事高	17,006	16,178	+827	+5%	-	-	-

【セグメント別売上高】(百万円)



※1) 2022年度より、従来「ガス設備事業」に含めていた一部工種を「建築設備事業」の区分に含めることに変更しております。参考までに2021年度の数字は組み替え後の数字にて表記しております

※2) 合計金額には外部顧客に対する鋼材販売手数料等の金額（2021年度60百万円、2022年度64百万円）を含めております

決算のポイント

売上高の増減

前期比+228百万円

建築設備事業

前期比+143百万円

- 集合住宅等の給排水衛生設備工事、給湯・暖房工事は堅調
- GHP※1メンテナンス事業は堅調
- GHP工事が減少

ガス設備事業

前期比+653百万円

- パワービルダー系の戸建住宅のガス設備工事、給排水設備工事が増加
- 前年度より持ち越した案件が多かったことにより機器工事は増加

ガス導管事業

前期比▲590百万円

- 静岡ガス(株)、北海道ガス(株)の設備投資計画に伴う受注が引き続き堅調
- 東京ガス(株)からの受注は堅調も、難工事が増加したことにより進捗率が低下

電設・土木事業

前期比+18百万円

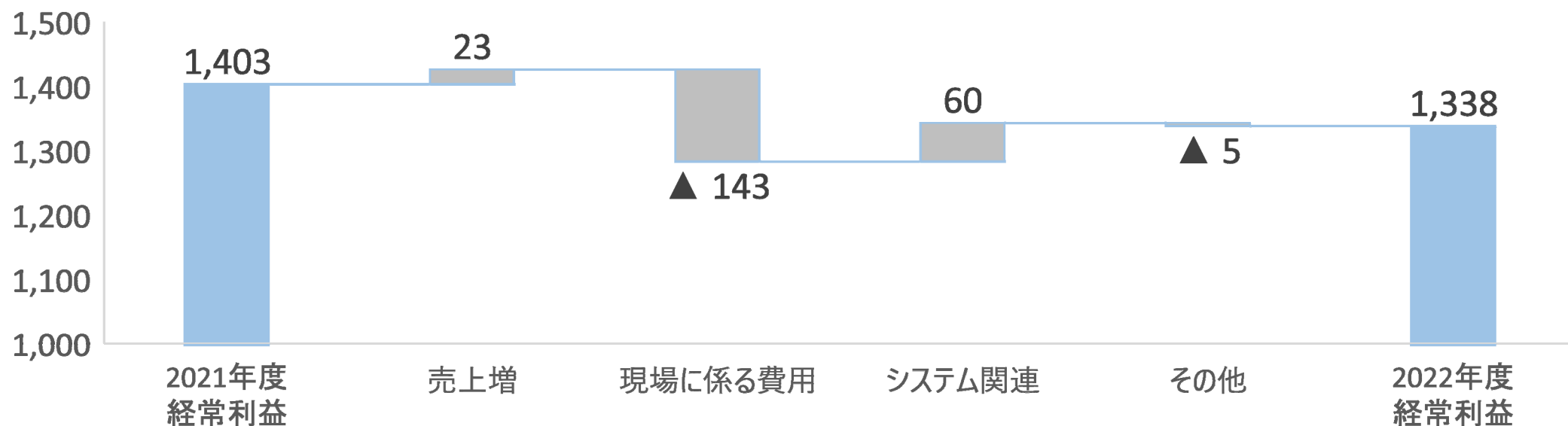
- 東京電力パワーグリッド(株)における管路埋設工事の大型案件が完成
- ゴルフ場の集客改善を受け、イリゲーション工事※2は堅調

※1) ガスヒートポンプエアコン ※2) ゴルフ場の緑化散水設備工事やクラブハウス等の設備工事

決算のポイント

経常利益の増減

前期比▲65百万円



【主なポイント】

- 原材料価格の高騰の影響に加え、委託業務費等経費の増加などにより、現場に係る費用が増加
- ガス導管事業において新システムを導入した2021年度と比較して、システム関連投資が減少

貸借対照表（要約）

（百万円）	2021年度末	2022年度末	前期比
資産の部			
流動資産	17,243	16,945	▲297
固定資産	9,013	9,444	430
有形固定資産	5,482	5,787	305
無形固定資産	27	63	36
投資その他の資産	3,503	3,592	88
資産合計	26,257	26,390	133
負債の部			
流動負債	8,172	8,278	105
固定負債	467	471	4
負債合計	8,639	8,750	110
資産の部			
株主資本	17,134	17,213	78
評価・換算差額等	482	426	▲55
純資産合計	17,617	17,639	22
負債純資産合計	26,257	26,390	133

【主なポイント】

- 流動資産
 - 現金及び預金 ▲434百万円
 - 有価証券 ▲99百万円
 - 完成工事未収入金及び契約資産 +272百万円
- 固定資産
 - 建設仮勘定 +302百万円
 - 投資有価証券 +89百万円
- 流動負債
 - 支払手形 +152百万円
 - 工事未払金 +152百万円
 - 1年以内返済予定長期借入金 ▲100百万円
 - 賞与引当金 ▲140百万円
- 固定負債
 - 退職給付引当金 ▲15百万円
 - 役員退職慰労金引当 +28百万円
- 純資産
 - 利益剰余金 +611百万円
 - 自己株式 ▲532百万円

キャッシュフローの状況

(百万円)	2021年度	2022年度	前期比
期首現金および 現金同等物の残高	8,031	8,060	+28
営業活動による キャッシュフロー	769	1,107	+338
投資活動による キャッシュフロー	▲142	▲575	▲432
財務活動による キャッシュフロー	▲598	▲966	▲367
期末現金および 現金同等物の残高	8,060	7,626	▲434

【主なポイント】

● 営業活動によるキャッシュフロー（前期比）

税引前当期純利益	▲145百万円
賞与引当金	▲321百万円
役員退職慰労引当金	+213百万円
売上債権	▲421百万円
未成工事支出金	+137百万円
未成工事受入金	▲105百万円
仕入債務	+321百万円
法人税等の支払額	+491百万円

● 投資活動によるキャッシュフロー（前期比）

有形固定資産の取得による支出	▲434百万円
投資有価証券の売却による収入	▲102百万円
21年度関係会社株式の取得による支出	+222百万円

● 財務活動によるキャッシュフロー（前期比）

長期借入金の返済	+140百万円
自己株式の取得	▲532百万円

2. 中期経営計画 「STEP 2024」の進捗について <2022年度～2024年度>

Keep the Lifeline.

中期経営計画「STEP 2024」概要

「STEP 2024」 (Sustainable Evolution Plan)

サステナビリティ基本方針

協和日成グループは、お客様に安心と心地よさを提供し、豊かな未来のためにライフラインを支えるという事業活動を通じて、社会的存在価値及び企業価値の増大を図り、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

5つの重要施策

事業戦略

株主還元の
強化

CSRの
推進

筋肉質な
企業体質作り

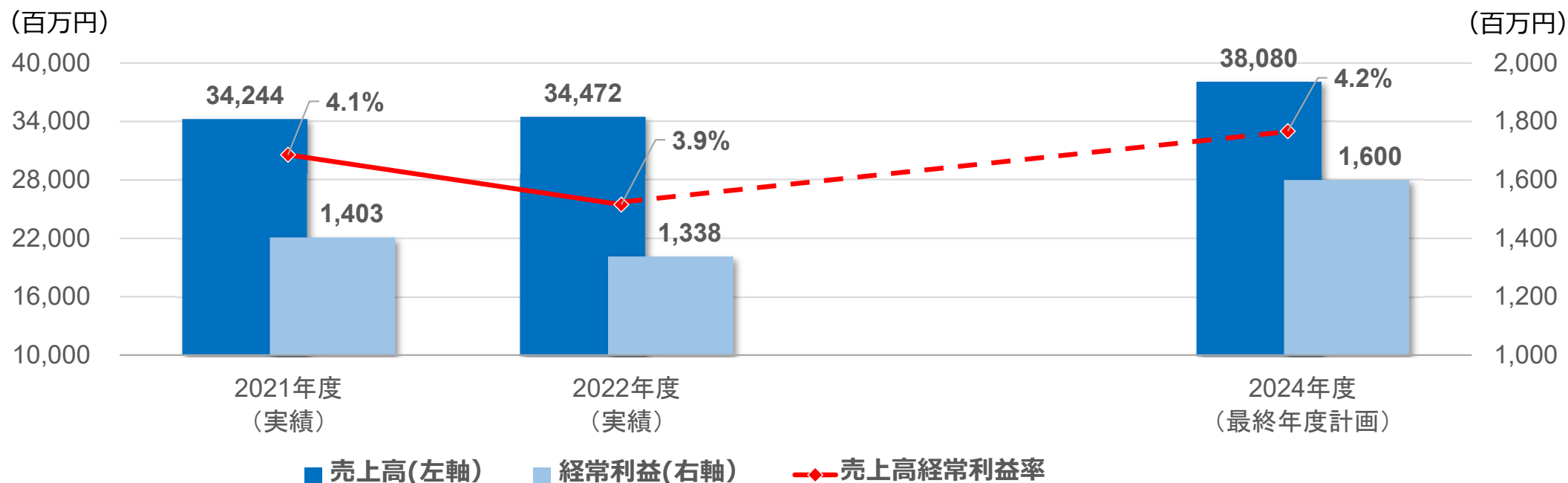
経営基盤
強化

売上・利益計画

(i) 全社

目標とする経営指標

企業の総合的な収益力を示す指標として、売上高経常利益率を重視。
中計最終年度**4.0%**の達成を目指す。

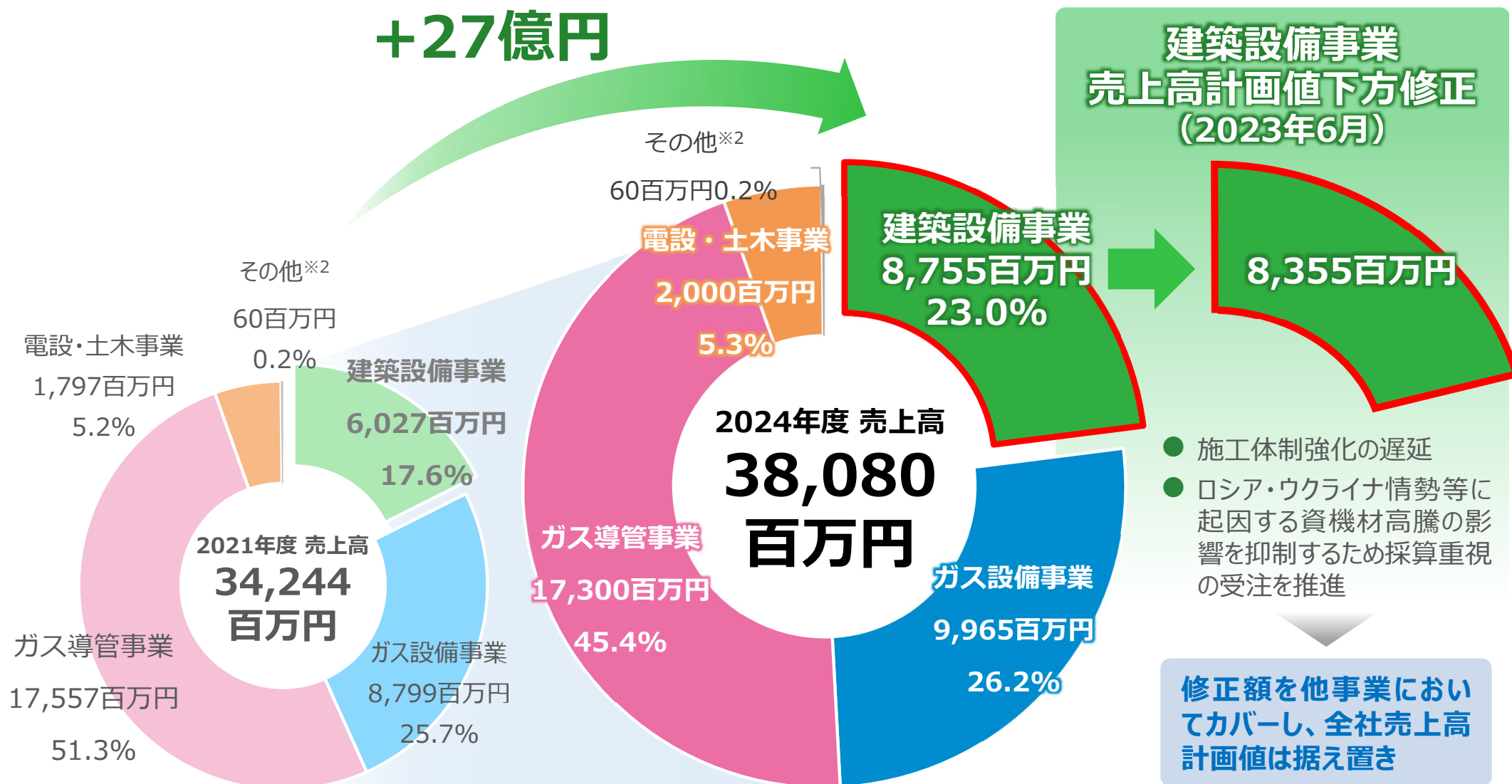


- 2022年度から2023年度にかけて設備の更新投資、人材に対する先行投資等が重なるため、この間の売上高経常利益率は低下する見通し
- 2024年度には収益力の向上により、このような費用を踏まえても4.0%以上の達成を目指す

売上・利益計画

(ii) セグメント別売上高計画※1

+27億円



※1) 2022年度より、従来「ガス設備事業」に含めていた一部工種を「建築設備事業」の区分に含めることに変更しております

※2) 工材販売手数料等の表示区分調整額

1.事業戦略

事業戦略の基本方針

持続的に発展、成長するために、
既存の事業領域に加えて、「建築
設備事業」を中核事業の一つに育
てあげる。特に新築設備工事分野
に経営資源を重点投入する。

<建築設備事業の内容>

新築

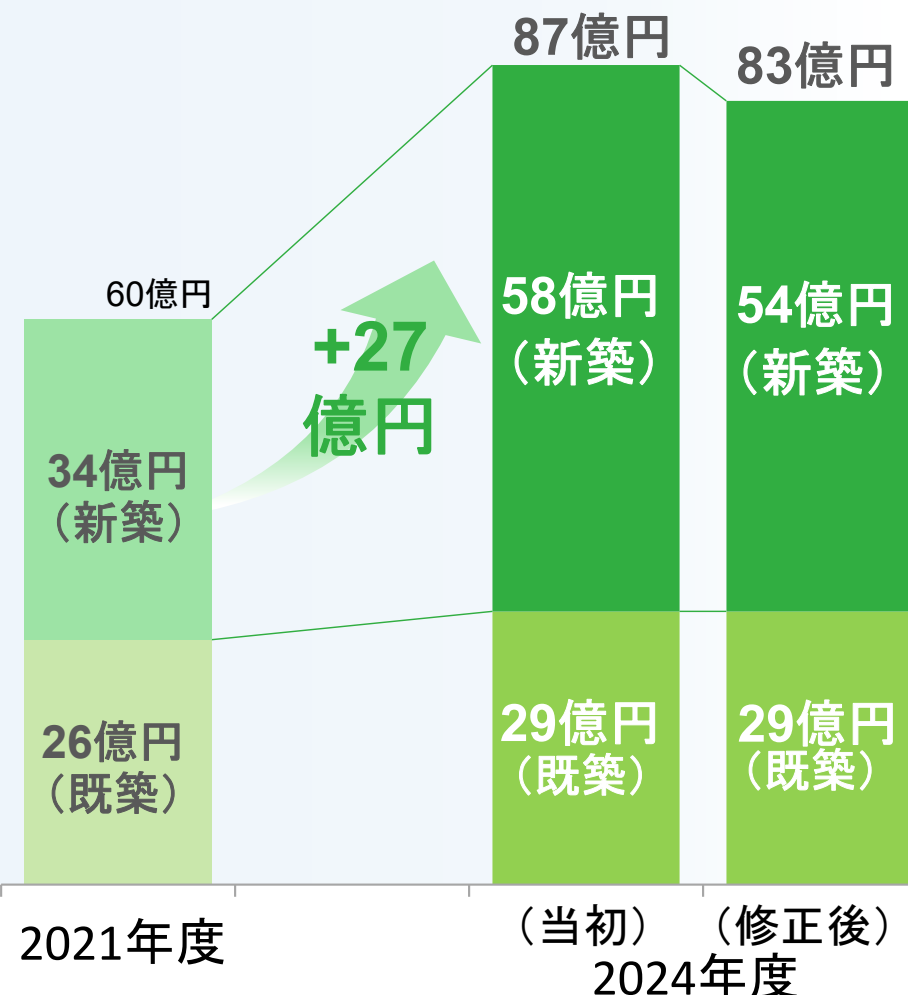
- ・新築マンション・施設系建物の給排水衛生設備・空調設備工事等
- ・新築マンションの給湯・暖房工事
- ・新築戸建住宅の給排水設備・電気工事※1

既築

- ・リノベーション工事（排水管更生工事を含む改修工事）
- ・工場施設関連の営繕工事
- ・GHP工事

※1) 戸建住宅の工事については、財務報告上は「ガス設備事業」に計上しております。

建築設備事業の売上計画



1.事業戦略

(i)建築設備事業成長に向けた取り組みの進捗状況

取り組み施策の概要

一括受注体制に向けた施工体制の整備

- 施工管理者の育成
- 建物の構造別にチーム体制を整え、一人当たりの生産性を向上
- 建築設備工事に従事する施工管理者の増強

以下工事の同時受注をより多く獲得

①ガス工事

②給排水衛生設備工事

③給湯暖房工事

④空調工事

⑤電気工事

進捗状況

分野	項目	進捗状況	評価※1
集合 (給排水衛生設備)	営業体制の強化	● 組織統合により営業部門と施工部門の情報共有と連携強化を実施 ● 両部門の物件情報の共有システムは開発中	○
	施工体制の強化	● 効率的な施工実現のためチーム制は導入も、若手の育成遅延により施工管理者の増強には課題	△
戸建 (給排水設備)	神奈川エリアでの拡大	● 新規受注先を開拓 ● 新規協力会社を拡充するとともに協力会社の多機能化支援に着手	◎
戸建 (電気工事)	電気工事の受注・ 施工体制強化	● 受注件数は増加 ● 新規協力会社を拡充	○

※1) 中計初年度の計画に対する評価

1.事業戦略

(ii)建築設備事業以外の事業分野の取組と進捗

ガス設備事業

- | | | |
|--|---|---------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">1 首都圏エリアの営業体制強化、施工力維持・拡大による売上拡大2 ITを活用した業務効率化 | <ul style="list-style-type: none">● 周辺ガス事業者の実績は目標に若干未達も、東京ガス管内のガス工事目標件数を達成● 監督・協力会社へのタブレット配備により、図面等のクラウド上での共有や、アプリによる施工写真の自動共有、定例勉強会等のWeb開催などを実施 | <div>○</div> <div>○</div> |
|--|---|---------------------------|

ガス導管事業

- | | | |
|---|--|---------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">1 将来の事業環境の変化を見据え、監督・施工班の多機能化を推進する2 監督・施工体制の強化により本管・内管・水道工事の受注量の確保と利益の増加を図る | <ul style="list-style-type: none">● ガス導管事業の監督・施工班における電設土木事業（管路工事）の経験蓄積が進んだ他、電設土木事業の施工技術に関する動画共有を実施● 札幌支店の水道工事は減少も、静岡支店における中圧工事・高圧導管メンテ工事を継続受注した他、札幌支店にて戸建内管工事の受注が増加 | <div>○</div> <div>○</div> |
|---|--|---------------------------|

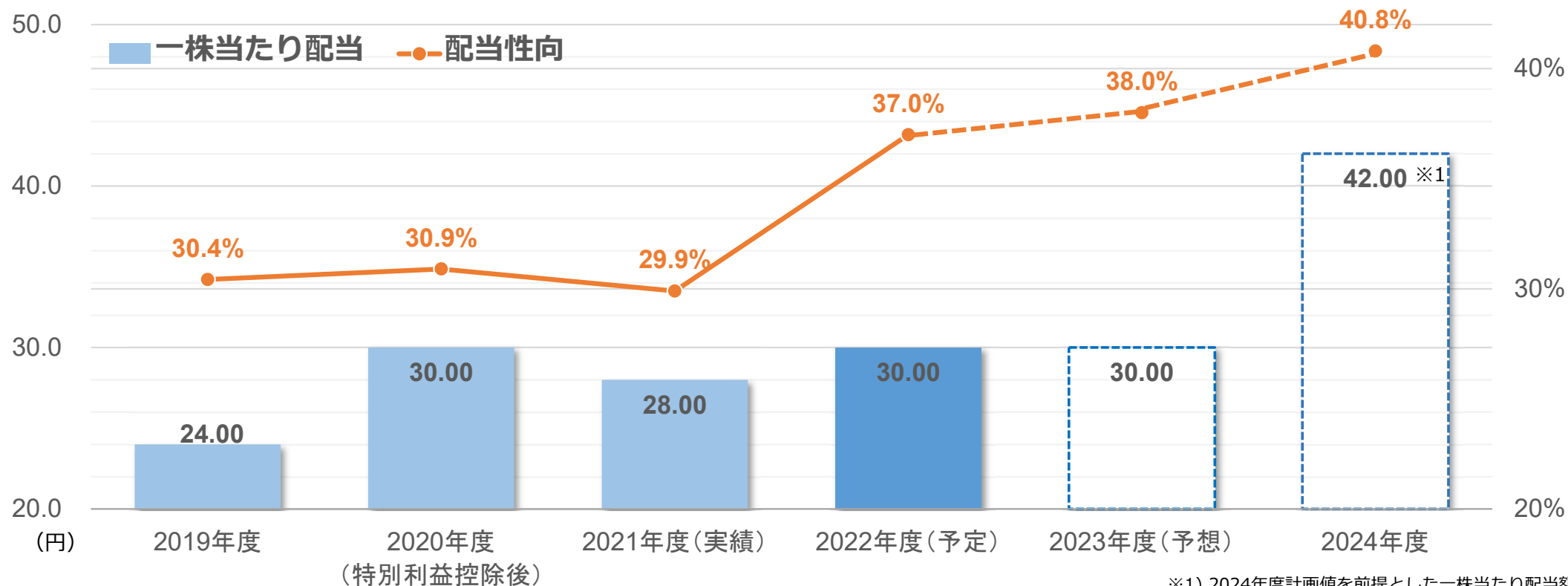
電設・土木事業

- | | | |
|--|--|--------------|
| <ul style="list-style-type: none">1 激甚化する自然災害によりニーズが高まる電力・水道のインフラ整備や、ゴルフ場設備の自動化・省力化等のニーズに対し、多機能化や業務分散、デジタル技術の活用による工事品質の向上を図る | <ul style="list-style-type: none">● 属人化解消と顧客対応力向上のためのスキルアップ講習を実施、情報共有と業務量に合わせた傾斜配置による業務量の平準化、水道関連業務の補助業務の管理者から業務チームへの委嘱は計画に比べ遅れ● ウェアラブルカメラを若手や遠隔サポートに活用できたが、施工管理者の業務重複時などにおける遠隔臨場への活用拡大には課題 | <div>△</div> |
|--|--|--------------|

2.株主還元の強化

配当方針（2022年5月改定）

- 経営基盤の強化に留意しつつ、当期の業績ならびに経営環境や今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案し、長期的かつ安定的な配当を維持・向上することを基本とする
- 業績に応じた配当を検討する上で、2024年度に配当性向40%を達成することを目標に、30%からの引き上げを図る
- 非日常的な特殊要因により当期純利益が大きく変動する場合は、その影響を除いて配当金額を決定することがある



3.CSRの推進

	取り組み内容	目標	2022年度進捗
E S G	a. 環境商材の拡販 b. ガソリン車、ディーゼル車以外の車両導入検討、車両のCO2排出量、電気使用量を分析	a. 2025/3月期 環境商材※1500台/年を目指す b. 2025/3月期 CO2排出量10%削減（2022/3比） 2022/3 CO2排出量実績約174万kg	a. 環境商材※12025/3月期目標500台を早期達成  b. 車両CO2排出量、電気使用量分析を実施 （EV車両導入検討は23年度の主な施策） 
	a. 多様な働き方の実現（働きがいのある職場環境） b. CSR調達制度の導入（2022年4月）	a. 男性主体業務への女性配員数の拡大（2021/3比40%増）を折り込んだ行動計画の策定、育児休業法改正に伴う制度整備 b. CSR調達方針・ガイドラインの調達先との共有、アンケート等による現状把握と改善指導を実施し、グループとして社会的責任を果たす体制を作り上げる	a. 男性主体業務への女性配員数を拡大（2021/3比 33.3%増（進捗83.2%））  b. CSR調達方針・ガイドラインの調達先との共有、アンケート、個別ヒアリングを実施 
	a. コーポレートガバナンス・コード（CGC）への対応 b. コンプライアンスの推進	a. エクスプレイン項目（役員評価、評価に基づく報酬制度、選解任基準の策定、任意の指名・報酬委員会の設置ほか）、次期改訂CGCへの対応 b. 年1度実施している全社的内部統制評価アンケートにおけるコンプライアンス関連の各指標5%改善	a. 役員の評価制度と、評価に基づく報酬制度の2024年度導入に向けた検討  b. 各指標5%改善を早期達成 

※1) エネファーム、ハイブリット給湯器、太陽光発電、蓄電池

4.筋肉質な企業体質作り

	取り組み内容	2022年度進捗
全社	業務改革の推進 ● 現場監督（施工）・営業・事務関連等、既存業務の内容・量を見える化し、ワークフローの見直しやデジタル技術の導入等で業務の効率化を図る	● ガス導管事業において、23年度の業務改革トライアルに向け、モデルケースを設定 ○
	リモートワーク環境の構築強化 ● セキュリティ等、システム・インフラの強化、およびルール整備 ○	● リモートワーク実施のためのインフラ強化、全社員への情報セキュリティ教育の強化 ○
	基幹システムの刷新 ● 業務処理効率向上 ● 法改正への対応	● 2025/4導入に向けシステム会社の選定等、計画通りに進捗 ○
部門固有	ガス導管事業 ● 本部内にCADセンターを設置し、内製化を図り委託業務費を削減	● 中計最終年度委託業務費の削減に向け、CADセンター人員を育成 ○
	ガス導管事業/電設・土木事業 ● ウェアラブルカメラを用いて、業務効率化の推進	● ガス導管事業／遠隔現場巡回をトライアル中 ● 電設土木事業／若手や高難度現場における遠隔サポート等に活用、施工管理者の遠隔臨場への活用拡大は計画未達 △

5.経営基盤強化 取り組みトピックス

	取り組み内容	2022年度トピックス
戦略的M&Aの実施	① M&Aを視野に入れた施工体制の検討	① 戸建給排水設備工事拡大のため協力会社6社と新規取引
従業員の心と身体 の健康づくり	① 従業員の「心と身体の健康づくり計画」の実施	① 「金の認定※1」を取得
東証市場構造改革を踏まえた取り組み	① 流通株式比率向上へ向けた施策の検討 ② 継続的なIR活動	① 流動性向上を図る目的で立会外分売を実施 ② 個人投資家向け会社説明会を東京で初開催

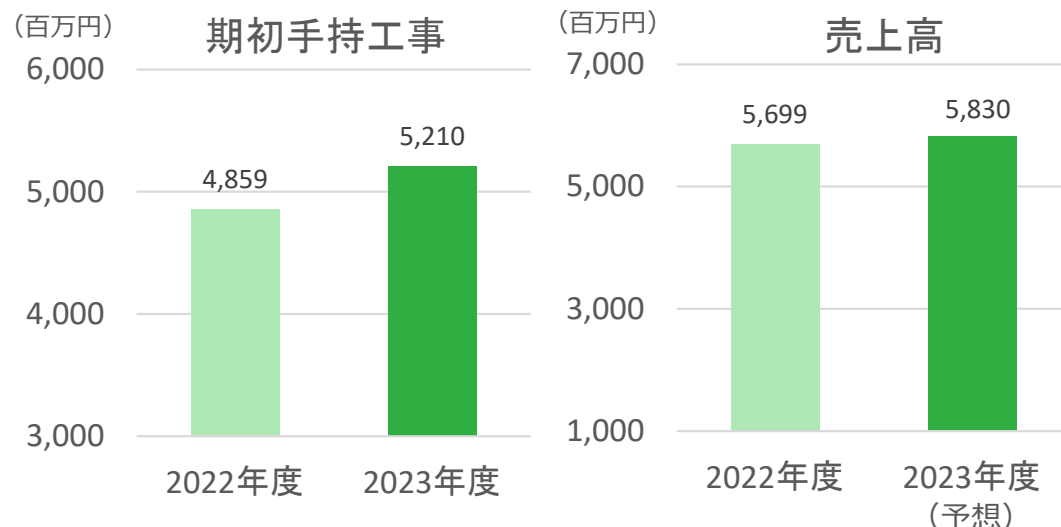
※1) 健康優良企業認定制度のステップ2。

3. 2023年度（2024年3月期） 業績見通し

Keep the Lifeline.

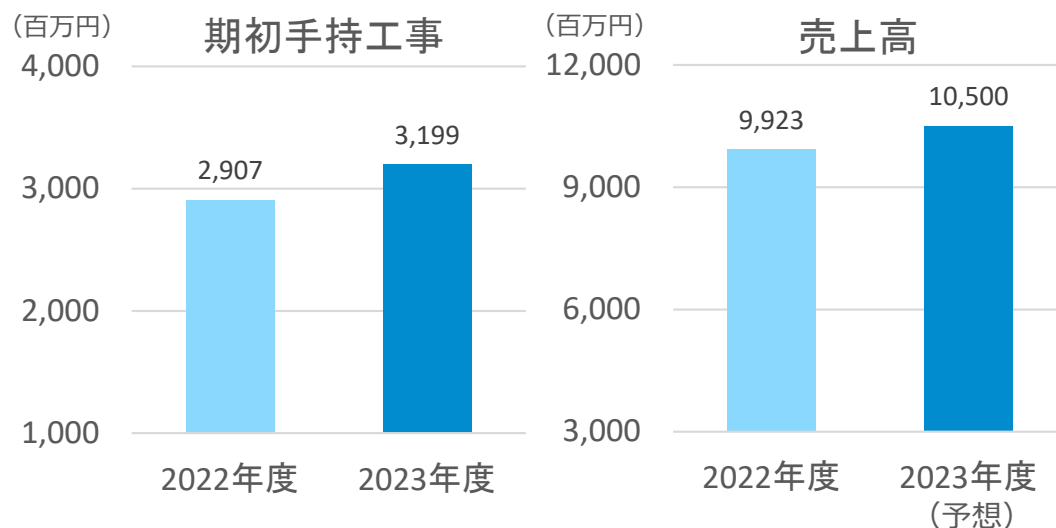
事業環境の見通し

【建築設備事業】※1



- 集合住宅等の給排水衛生設備工事は主要顧客からの受注が堅調
- 既築建物のリフォーム・リノベーション市場は堅調
- リノベーション工事（排水管ライニング工事を含めた改修工事）における大型物件の完成を予定

【ガス設備事業】※1

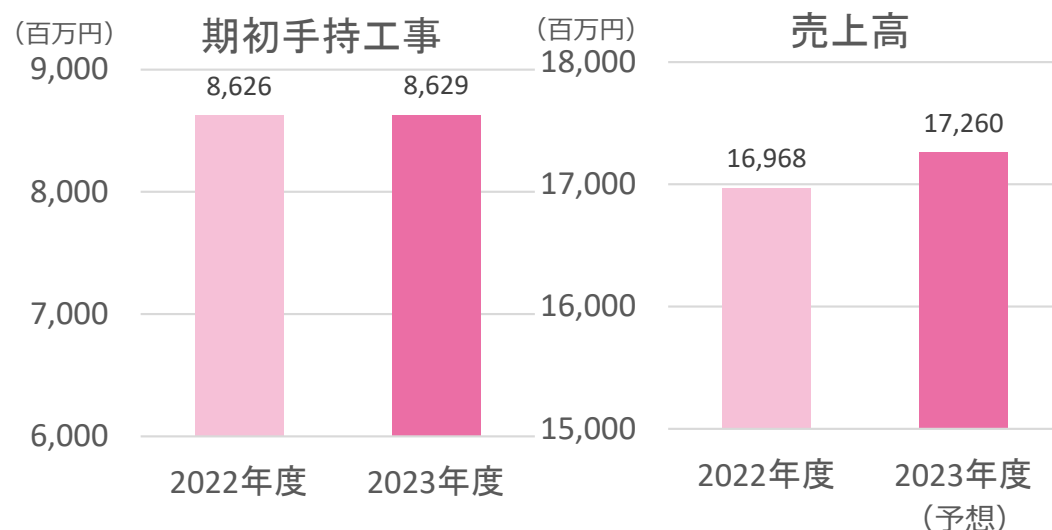


- 新型コロナウイルスで先送りされていた住宅需要が顕在化していることから、住宅着工戸数は横ばいで推移すると予想
- 首都圏における大規模物件の増加が見込まれる
- 戸建給排水設備工事において2022年度に引き続き受注量増加の見込み

※1) 2023年3月期よりガス設備事業に含めていた一部工種について建築設備事業に移管したため、以前の事業年度の数値を変更後の区分に組み替えています。

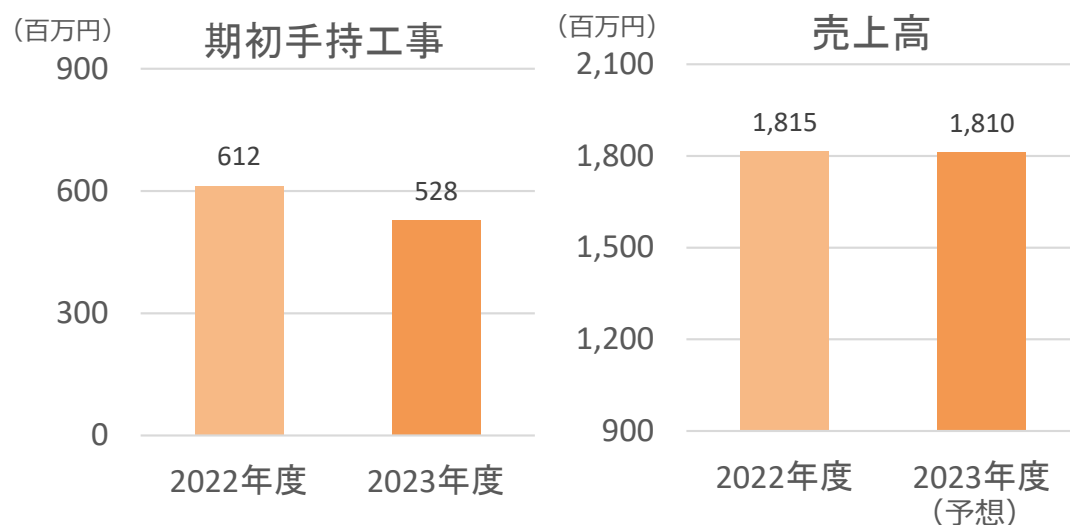
事業環境の見通し

【ガス導管事業】



- 各ガス事業者の設備投資計画は引き続き堅調
- 設備投資計画に伴う工事についての競争激化は懸念点

【電設・土木事業】



- 水道局関連工事の受注環境が引き続き堅調
- 東京電力パワーグリッド(株)の設備投資計画では、徹底したコスト管理施策により引き続き厳しい受注環境が継続するも、都心の再開発事業・バリアフリー化・無電柱化等の需要が旺盛で受注量は堅調
- イリゲーション工事は、ゴルフ場の集客数の回復とコースや施設への設備投資が期待され、受注は堅調

損益の見通しおよび配当予想

(百万円)	2022年度	2023年度 予想	前期比	
			(金額)	(%)
売上高	34,472	35,470	+998	+2.9%
営業利益	1,141	1,120	▲21	▲1.8%
経常利益	1,338	1,270	▲68	▲5.1%
当期純利益	933	910	▲23	▲2.5%
一株当たり配当金 (配当性向)	30円 (37.0%)	30円 (38.0%)	±0 (+1.0pt)	—
【参考】 期初手持工事高	17,006	17,567	+561	+3.3%

- 売上高は増加が見込まれるものの、人的投資、システム関連投資、新拠点建設などの投資を計画しており、営業利益、経常利益、当期純利益は前年同期比で減益の見通し

2023年度 主な施策

事業戦略



建築設備事業 業績を伸ばしていくための体制整備継続

- 新築給排水衛生設備工事における営業体制強化による新規顧客開拓と、施工体制強化による複数工種対応強化
- 既築分野における設備・空調改修物件の積極受注

ガス設備事業 戸建住宅における給排水衛生工事の強化

- 神奈川エリアの戸建給排水設備工事の施工体制強化
- 電気工事の施工体制強化と、トライアル段階から売上拡大段階への移行

ガス導管事業/電設・土木事業

- ガス導管監督とガス導管施工班の多機能化を推進継続
- 静岡エリア・札幌エリアにおける新規受注先からの受注強化
- 札幌エリアにおけるガス設備工事施工体制の増強

CSRの推進



環境対応

- ハイブリッド車やEVの導入や、自社拠点へのEVステーション建設も視野に入れた温室効果ガス削減策の検討着手

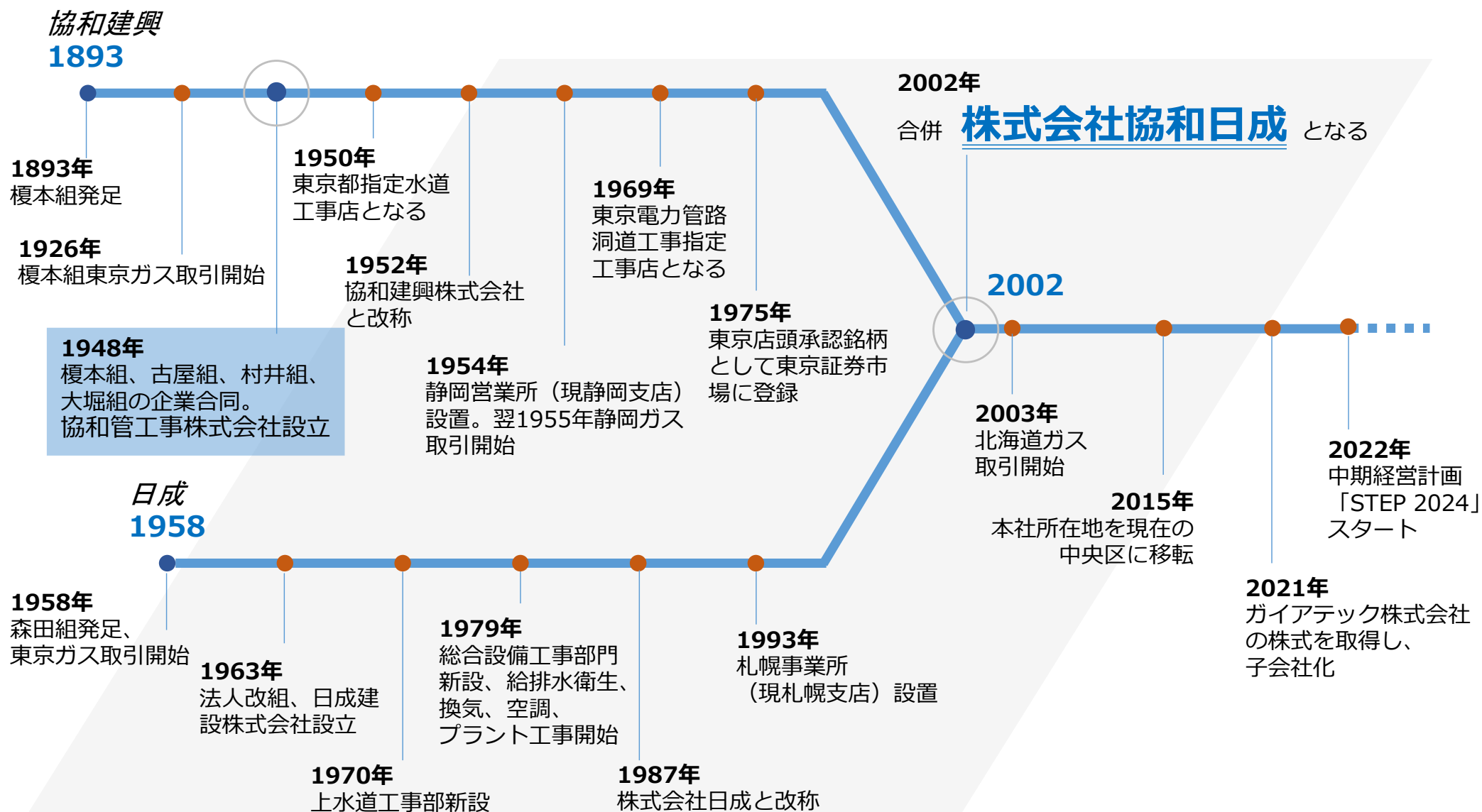
4. ご参考資料

Keep the Lifeline.

会社概要

商号	株式会社協和日成
設立	1948年（昭和23年）9月15日
所在地	〒104-0042 東京都中央区入船3-8-5
資本金	5億9千万円
株式	東京証券取引所スタンダード市場＜コード:1981＞
代表者	代表取締役社長 川野 茂
従業員数	778名（2023年3月31日現在）
売上高	344億円（2022年度）
グループ会社	3社（2023年3月31日現在）

当社のあゆみ



企業スローガン/企業理念/企業ビジョン

企業スローガン

私たちは常に進化する強い意志を持ち、
心一つにして一流に向かい羽ばたき続けます。

企業理念

存在意義

豊かな暮らしのために

経営姿勢

お客様から選ばれ
続けるために

行動規範

羽ばたき続けるために

企業ビジョン

たゆまぬ研鑽を行い、優れた人間力と高い現場力でサービスを
提供する**真の総合設備工事会社**を目指します。

クオリティマネジメント

「ライフラインを支える」という使命のもと、品質、安全、環境、コンプライアンスを守ることを何よりも優先し、お客さまの信頼を築いていきたいと考えています。

品質管理

お客さまの満足が、私たちの喜びです。

安心・安全

安全第一主義で安心をお届けします。

環境への取組み

人に地球に、もっと優しく。

コンプライアンス

誠実で、風通しのよい企業に。

事業内容 ① 建築設備事業について

建築設備事業

主な施工場所

集合住宅

工場

学校・福祉施設

商業施設

<集合住宅における施工範囲>

給水… ●—● 給湯… ▲—▲
床暖… ○—○ 排水… ●—●
換気… ◆—◆ 空調… —
消火… —
ガス… ■—■
(当社ガス設備事業が施工)

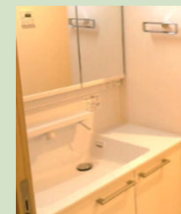
キッチン



シンク下



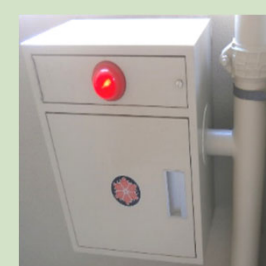
風呂・洗面所



洗濯パン



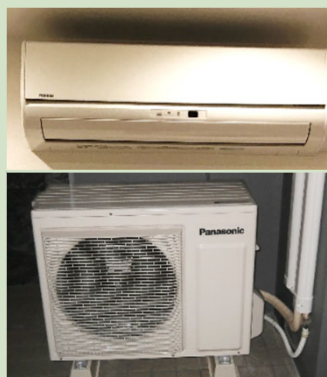
消火栓



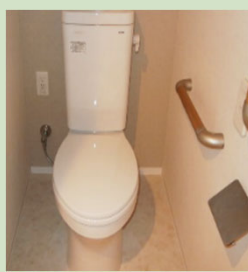
床暖房 (TES)



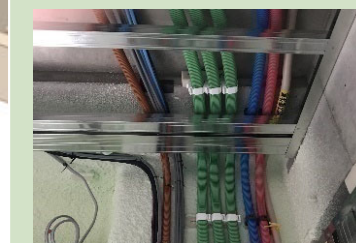
エアコン・室外機



トイレ



天井裏の配管



【その他の設備工事】

- ・ 厨房設備工事
- ・ 工場プラント工事
- ・ GHP (ガスヒートポンプエアコン) 工事

【メンテナンス】

- ・ GHPメンテナンス工事
- ・ 給排水管の耐用年数をアップする工事

給水管

⇒ NPL-Ⅲ工法

排水管

⇒ DREAM工法

樹脂でコーティング ▶



事業内容 ②ガス設備事業について 1/2

ガス設備事業

主な施工場所

戸建住宅

集合住宅

学校・福祉施設

商業施設

ガス設備工事



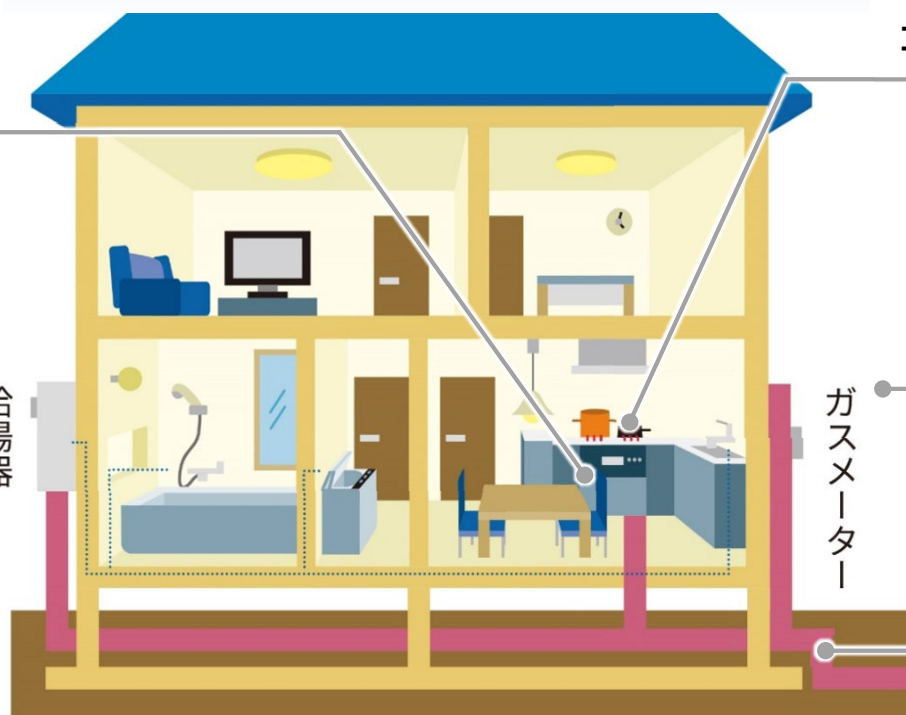
コンロ下 (ガス栓)



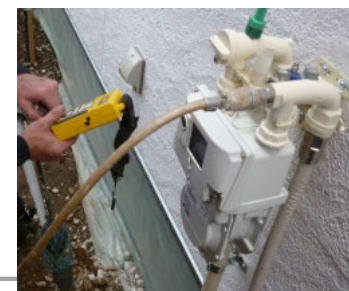
給湯器

戸建イメージ

■ = ガスの配管



コンロ 点火試験



ガスメーター



ガス管土中埋設配管

東京ガス管内年間
メーター取付数

約37,000個

(シェア約17%)

事業内容 ②ガス設備事業について 2/2

ガス設備事業

主な施工場所

戸建住宅

集合住宅

学校・福祉施設

商業施設

暖房給湯・ 空調設備工事

戸建住宅のTES(TOKYO GAS ECO SYSTEM/ガス給湯暖房)工事。エネファームなどのガス機器設置工事など。



エネファーム
(家庭用燃料電池
コージェネレーションシステム)



【エネファームのシステムイメージ】



床暖房 (TES)



乾太くん (ガス衣類乾燥機)



太陽電池・燃料電池・蓄電池 システム工事

省エネ機器、発電、蓄電およびシステム制御。住宅、小規模施設の発電、蓄電池等のシステム設計。災害時の停電対策に関する設備の提案・設計・施工・メンテナンスまで。



エネイース:
太陽光発電+蓄電池

事業内容 ③ガス導管事業について

ガス導管事業

主な施工場所

地中

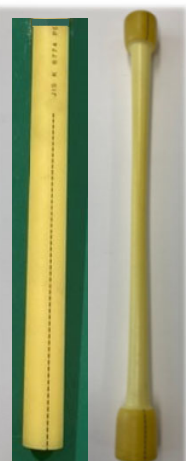
ガス導管工事

ガス管の漏洩防止と耐震化：

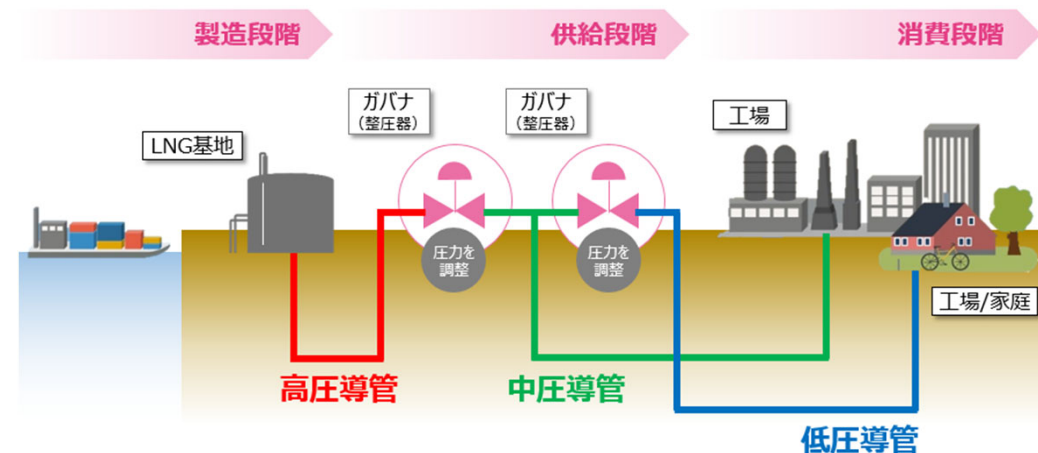
土中の水分で腐食せず、地震に強い柔軟性のあるポリエチレン管に入れ替える工事

ポリエチレン管は
ひっぱり強く、地震に強い

※ガス導管が届いていないお客様の敷地まで導管を埋設する工事である“**ガス管の延伸**”もおこなう。



<ガスが届くまで>



メンテナンス

ガス導管修理工事

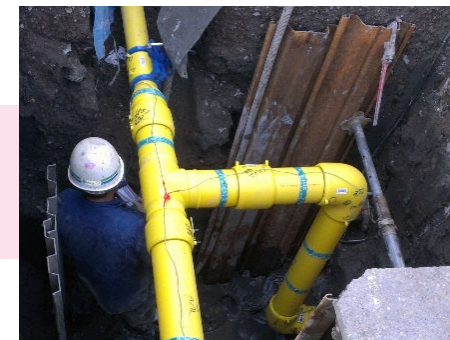
ガスの本管・支管に
関わる修理工事

ガス漏れ緊急出動

ガスの本管・支管に発生する
ガス漏れに関わる緊急調査・
修理。24時間365日、出
動に備えて待機しています。



大口径導管溶接工事



導管分岐部工事

事業内容 ④電設・土木事業について

電設・土木事業

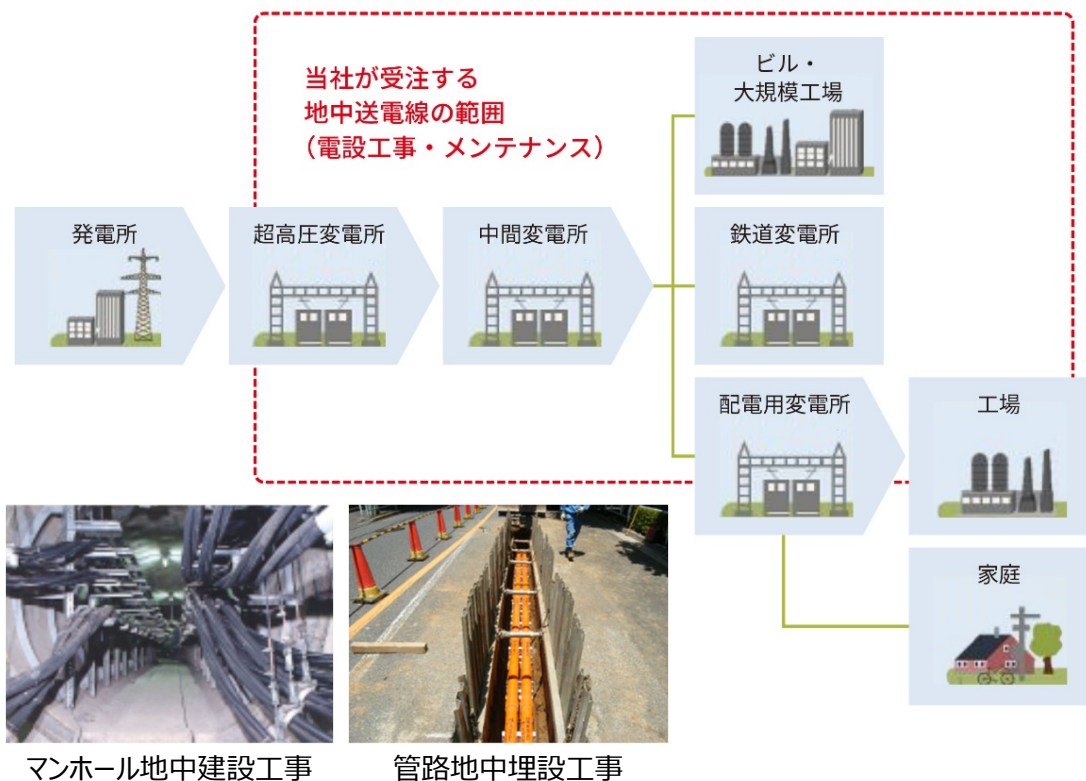
主な施工場所

地中

ゴルフ場

電設工事・メンテナンス

地中送電線を通すための管路埋設工事、およびマンホールの地中建設工事、点検・補修工事。



一般土木工事

上水道工事、
道路舗装工事 など



上水道入替工事



道路舗装工事

イリゲーション工事

ゴルフ場の散水設備、
クラブハウスの設備工事



ゴルフ場コース



スプリンクラー
取替工事

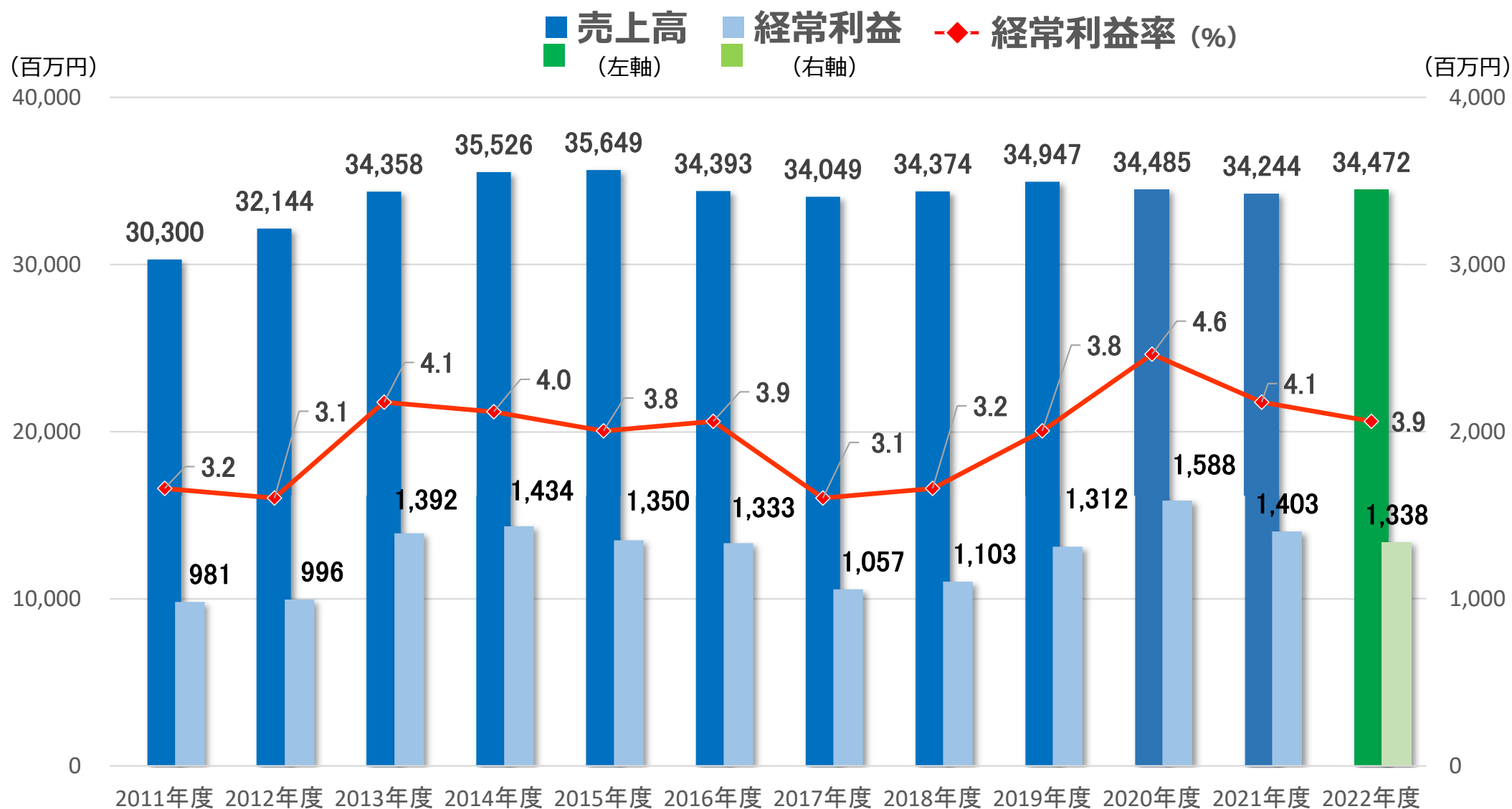


クラブハウス浴室
シャワー水栓取替工事

当社の顧客チャネル



当社のあゆみ ～12か年業績推移～



本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社協和日成 企画室

電話 : 03-6328-5662

メール : ir@kyowa-nissei.co.jp